

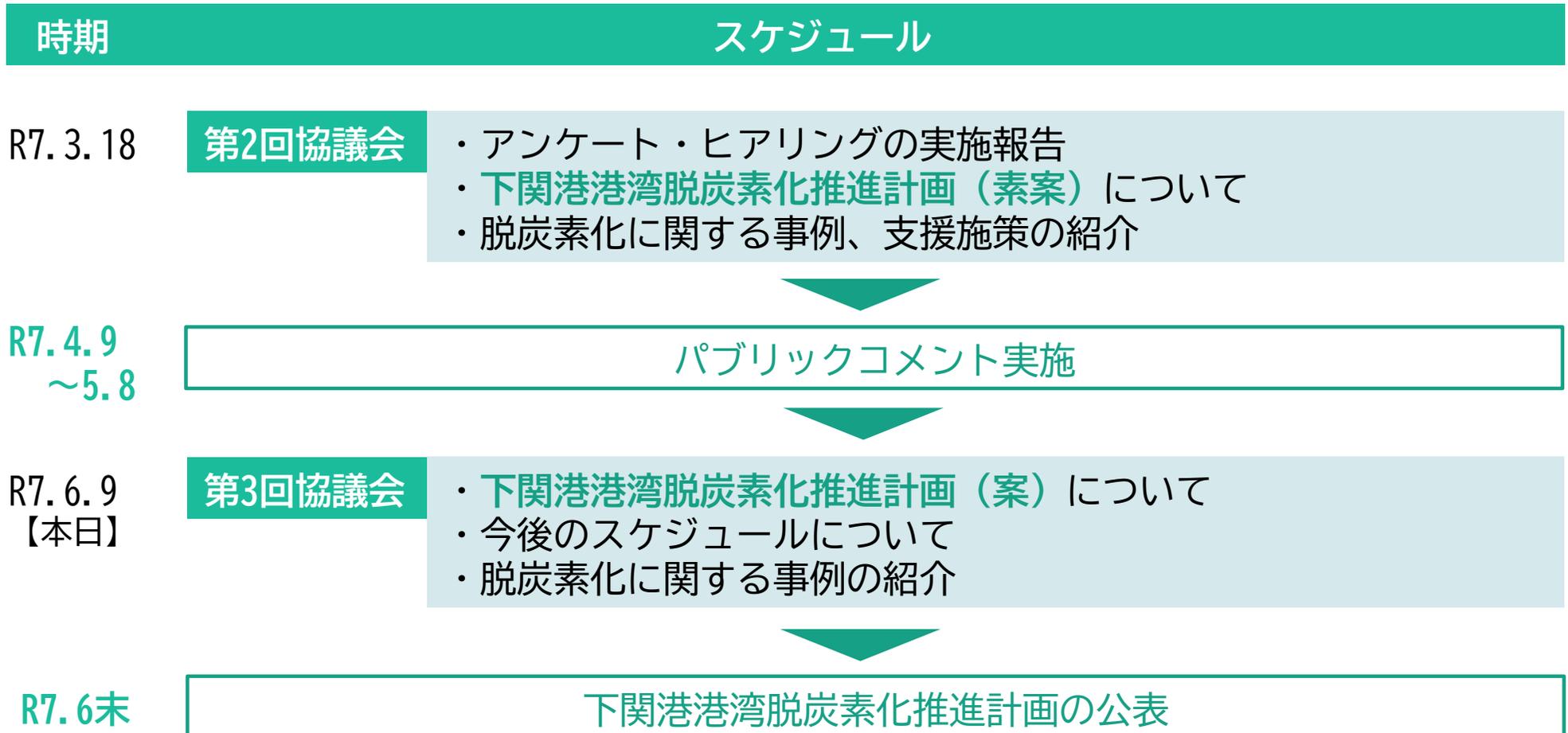
下関港港湾脱炭素化推進計画（案）について

2025年6月9日

下関市 港湾局

計画作成・公表までの流れ

- 第2回協議会にてご協議いただいた「下関港港湾脱炭素化推進計画（素案）」をもとに、パブリックコメントを実施しました。
- パブリックコメントの提出意見を踏まえ作成した「下関港港湾脱炭素化推進計画（案）」について、本日の第3回協議会にてご説明し、協議のうえ6月末に「下関市脱炭素化推進計画」の公表を予定しています。



1. パブリックコメントの提出意見と対応方針

1. パブリックコメントの提出意見と対応方針

実施概要

- 実施期間 : 令和7年4月9日(水)～令和7年5月8日(木)
- 意見提出方法 : 郵送、FAX、Eメール、閲覧場所設置の意見提出箱への投函、経営課への持参
- 閲覧場所 : 港湾局経営課、市役所本庁舎、4総合支所、12支所

意見と対応方針

- 提出者 : 2名、意見数 : 3件

番号	該当箇所	意見要旨	市の考え又は対応	計画への反映
1	P5	関門海峡の潮流を活用した発電を開発してほしい。関門海峡の潮流エネルギーの凄さは誰もが実感しており、これを活用しないのはもったいない。しかしながら、技術開発はすぐには困難であることも承知している。 まずは、関門海峡の潮流エネルギーを活用することで、潮流発電の先駆けとなり、脱炭素推進を下関から世界中に発信してほしい。	太陽光やバイオマス以外の潮流等の再生可能エネルギーについても、技術開発の動向を注視し、導入可能な段階になりましたら活用を検討して参ります。このため、表13「港湾における脱炭素化の促進に資する将来の構想」中の表現を「再エネ施設の活用・導入拡大（太陽光発電システム・バイオマス発電所等）」とします（下線部追記）。	○
2	P10	港湾区域内及び臨港地区内における脱炭素化に向けた工事用船舶、車両等への働きかけも必要と考える。	荷役機械のみならず、工事用船舶車両等による脱炭素燃料への転換はCO2排出量削減に向けて必要な取り組みと考えています。頂きましたご意見を参考に、作業船をはじめとした工事用船舶や車両への働きかけに留意していきたいと思えます。	—
3	—	山口県内の主要港（徳山下松港、宇部港、小野田港）及び北九州港との施策連携も考慮すべきと考える。	現時点では脱炭素化に向けた取組は各港において行うこととしていますが、広域的な取り組みが必要となれば連携することも考えて参ります。	—

2. パブリックコメント意見の 下関港港湾脱炭素化推進計画（案）への反映

2. 下関港港湾脱炭素化推進計画（案）への反映

- パブリックコメントを踏まえ、以下のとおり、計画を修正いたしました。

修正事項（赤字箇所）

計画本編
p16該当

6. 港湾脱炭素化推進計画の実施に関し港湾管理者が必要と認める事項

6.1 港湾における脱炭素化の促進に資する将来の構想

表 13 港湾における脱炭素化の促進に資する将来の構想

	区分	施設の名称（事業名）	位置	実施主体	実施期間
長期	ターミナル内	荷役機械の低・脱炭素化の導入拡大	下関港全域	各事業者	～2050年度
	出入船舶 ・車両	船舶燃料の脱炭素化	—	各事業者	～2050年度
		陸上電力供給設備の導入拡大	下関港全域	船社	～2050年度
		低炭素型車両の導入		下関市・各事業者	
	ターミナル外	設備の省エネ化・高効率化の拡大 (設備更新・燃料の脱炭素化)	各事業所	各事業者	～2050年度
		再エネ施設の活用・導入拡大 (太陽光発電システム・ バイオマス発電所等)			
		荷役作業の効率化 (貨物横持ち・荷役待ちの解消・ モーダルシフト促進)	下関港全域	下関市・各事業者	～2050年度
		藻場の保全・拡大	福浦地区	下関市	～2050年度
	その他	LNGバンカリング供給受入の拡大	下関港全域	下関市	～2050年度